

大学院特別講義

（医歯学先端研究特論）（生命理工学先端研究特論）

（医歯理工学先端研究特論）

下記により大学院特別講義を行いますので多数ご来聴下さい。

記

演 題：自己免疫性肺胞蛋白症における GM-CSF

自己抗体過剰産生の機序について

講 師：中田 光（なかた こう）先生

新潟大学医歯学総合病院 生命科学医療センター 教授

日 時：平成 25 年 1 1 月 1 9 日（火）

1 8 時 0 0 分 ～ 2 0 時 0 0 分

場 所：共用講義室 1 （MD タワー 2 階）

講演要旨：

顆粒球マクロファージコロニー刺激因子 (GM-CSF) に対する自己抗体 (GMAb) は、血清中に GM-CSF との蛋白抗原複合体の形で存在する。GMAb が過剰産生され、肺胞マクロファージの終末分化を阻害するために発症するのが、自己免疫性肺胞蛋白症である。胚中心で抗原特異的ヘルパー T 細胞により V 領域に特定の配列を持つ IgG 型 GMAb 陽性クローンが増殖し、より親和性の高いクローン選択が起こっていると思われる。

【連絡先】 人体病理学分野 江石、鈴木（内線 4 6 0 7）